

けんぽく

第28号[平成28年3月号]

県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する情報をお知らせします。



平成28年3月31日発行

「食」と「ふるさと」 新生運動ニュース

編集・発行 福島県県北農林事務所

◆松川町水原地区生産組合が「豊かなむらづくり 顕彰事業」(農業生産部門)で表彰！

平成28年3月24日(木)、福島市の杉妻会館において、「平成27年度豊かなむらづくり顕彰事業優秀団体表彰式」が開催されました。



福島県知事との記念撮影

本顕彰事業は、集落等におけるむらづくり活動や農業生産活動に顕著な実績を収めている団体等を表彰するとともに、その活動内容を広く紹介することにより、農業・農村の発展に寄与することを目的に実施しているもので、本県の農業分野で最も権威のある賞の1つです。

今回、当農林事務所管内では、農業生産部門において、福島市の「松川町水原地区生産組合」が表彰され、丹野幸雄組合長ほか3名が、代表として式に出席されました。

「松川町水原地区生産組合」は、平成13年に設立され、平成20年から、本格的にWCS(ホールクroppサイレージ)栽培に取り組み始めました。平成26年から、近隣の畜産農家と耕畜連携の契約を結び、水田の地力向上に努めています。さらに、平成24年に担い手となる「農事組合



当農林事務所長や関係者との記念撮影

法人福島未来農業生産組合」の設立を支援し、WCSの収穫、直播・除草の受託などを組合が行うことで、高齢農家も取り組める体制を構築するなど、地域の模範となる素晴らしい活動を行っています。

今回の受賞、誠にありがとうございます！「松川町水原地区生産組合」の今後のますますの御活躍を御祈念申し上げます。

(企画部・農業振興普及部)

◆平成27年度「けんぽく6次化ミーティング」 第2回交流会を開催！

平成28年3月3日(木)、福島市の杉妻会館において、福島県県北地方振興局及び当農林事務所が事務局を務める「けんぽく6次化ミーティング」運営会議主催の平成27年度「けんぽく6次化ミーティング」第2回交流会を開催しました。けんぽく6次化ミーティング会員のほか、地域産業6次化に関心のある管内の生産者、事業者等57名が参加しました。

まず始めに、「魅せるパッケージデザインとは？」と題して、株式会社文化メディアワークス 取締役・アートディレクター佐藤正和氏より講演がありました。実際に佐藤氏が手掛けた商品パッケージを例に、販売先としてイメージしたお客様に、作り手の商品のこだわりを、デザインを通してどのように伝えていくのか等の説明がありました。



講演する佐藤氏

続いて、「賞味期限を延ばす」と題して、福島県産品加工支援センター企画支援チーム池田信也専門研究員より事例発表がありました。豊富な支援事例から、商品の品質を維持又は向上させ



講演する池田専門研究員

ながら、開発当初に目標設定した賞味期限を達成した事例について説明がありました。

いずれも、6次化商品開発を進める上で重要な要素であることから、参加者は興味深く聞いていました。

後半の交流会では、管内の6事業者が出展し、6次化商品の試食提供がありました。試作段階の商品もあり、試食・求評を通して今後商品化を進める上で、ブラッシュアップにつながる良い機会となりました。



交流会の様子

今後の管内の6次化を進める上で、有用な交流の場となりました。

(企画部)

このたび、その取組をまとめたパンフレットが完成しました。パンフレットでは、これまでのワークショップの取組や、春夏秋冬それぞれの季節の野菜などを活用したお味噌汁や郷土食の紹介、また、桑折町の食生活改善推進員のおすすめお味噌汁レシピなど、盛りだくさんの内容となっています。写真やイラストも多く、お子さんにも興味を持っていただけるようなデザインになっています。

パンフレットは、3月上旬に桑折町住民の各戸に配布されました。

このパンフレットを通して、更に多くの方が郷土の食材やお味噌汁に興味をもっていただくことを期待します。

(企画部)



◆郷土のお味噌汁のパンフレットができました！

桑折御蔵^{こおりおんくら}を運営している元気こおり本舗有限責任事業組合では、今年度、福島県過疎・中山間事業「あぶくま里山の恵み・地域元気づくり事業」を活用して、郷土のお味噌汁に関する取組を行ってきました。

これまでも同組合では、高齢者グループや小学生などを対象とした郷土のお味噌汁ワークショップを4回実施し、地域内外の多世代にわたる住民の交流や、農産物の安全・安心への理解向上に取り組んできました。

◆「県産食材利用推進キャラバン」を実施！

当農林事務所では、「県産食材利用推進キャラバン」を実施しています。このキャラバンは、「ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』新生運動」における風評払拭・消費拡大運動の一環として、県産農林水産物の利用拡大を目的として実施しているもの

です。昨年10月から11月に管内の学校給食施設等を訪問したのに続き、今回は介護・福祉施設、病院等を



対応いただいた「聖・オリーブの郷」
勝山主任管理栄養士
(感染対策のためマスクを着用)

訪問しました。

今回は、福島市の福島赤十字病院、医療生協わたり病院、社会福祉法人多宝会まちなか宝生園、社会福祉法人創世福祉事業団介護老人保健施設聖・オリブの郷等を平成 28 年 3 月 10 日（木）及び 11 日（金）に訪問しました。入院者・入所者向けの食事、及び従業員食堂等での県産農産物等の使用状況等について、聞き取りを行いました。直営や委託など

実施形態は様々ですが、「震災直後は使用しなかったが、今は旬の食材をおいしく食べてもらうため、県産農林水産物を使用している」、「米については、震災前から県産を使用している」等の意見をいただきました。



対応いただいた「まちなか宝生園」伊藤課長補佐(感染対策のためマスク着用)

震災及び原発事故から 5 年が経過し、県産農林水産物の検査体制に対する理解が広まり、食の安全・安心につながっていることが実感できました。また、いずれの施設も、地元の八百屋などの納入事業者から食材を購入していることから、納入事業者に対して、積極的に安全・安心を PR することで、県産農林水産物の利用拡大につながる可能性があることも確認できました。

（企画部）

◆県北地方有害鳥獣被害防止対策会議を開催！

平成 28 年 2 月 18 日（木）、福島市の新ふくしま農業協同組合（現ふくしま未来農業協同組合）北信支店において、県北地方有害鳥獣被害防止対策会議を開催しました。この会議は管内の 8 市町



会議の様子

村、各農業協同組合及び農業共済組合等の鳥獣被害対策の担当で構成されており、近年、問題となっているイノシシによる農作物被害への対策を中心に情報・意見交換を行うことを目的として開催されました。

会議では、最新の被害状況の確認や被害対策に活用できる事業の確認、各市町村の被害対策への取組について情報交換を行いました。

続いて、鳥獣被害対策に先進的に取り組んでこられた元二本松市職員 杉山啓一郎氏から、「地域ぐるみによる鳥獣被害対策の実践活動について」と題して事例発表がありました。地域住民が一丸となって対策を進め



鳥獣被害対策の優良事例を紹介する杉山氏

るためには、行政側でこまめな情報提供と巡回を行い、地域住民と一緒に意識を醸成していくことが大切とのお話がありました。

最後に、来年度に向けて、有効な対策等に関する情報や技術、意見の交換をしながら、対策を進めていくことを確認しました。

（農業振興普及部）

◆福島市大波地区有害鳥獣被害防止対策研修会を開催！

平成 28 年 2 月 28 日（日）、福島市大波多目的集会場と付近の電気柵設置水田において、福島市大波地区有害鳥獣被害防止対策研修会を開催しました。研修には大波地区の電気柵設置者 58 名が参加しました。

研修会では、始めに野生どうぶつ調査団奥田加奈氏から「イノシシの基本



イノシシの生態を説明する奥田氏

的な生態と被害対策について」と題して講演があり、イノシシの生態に応じた有効な被害対策について学習しました。

次に、実際に電気柵を設置しているほ場において、北原電牧株式会社盛岡営業所所長 伊藤雅美氏から、「電気柵の安全で効果的な設置方法及び設置後

管理について」と題して、実演を交えながら説明があり、電気柵の安全確保の遵守や、上手な設置方法について、学習しました。



電気柵の説明をする伊藤氏

参加者からは、「イノシシの生態が分かって大変参考となる研修だった」、「電気柵の冬期の管理方法が分かってよかった」などの感想が出され、大波地区の鳥獣被害対策意識向上に資する良い機会となりました。

(農業振興普及部)

◆平成 27 年度福島県農業総合センター果樹研究所 講習生修了式を行いました！

平成 28 年 3 月 14 日（月）、福島市の福島県農業総合センター果樹研究所において、平成 27 年度福島県農業総合センター果樹研究所講習生修了式を行いました。

今年度は管内の講習生 5 名を含む 6 名が、1 年間果樹栽培の技術や知識を学び修了しました。



修了される講習生

式では、同研究所安部所長から講習生に修了証書が授与された後、式辞が読み上げられました。続いて、当農林事務所渡邊農業振興普及部長より祝辞が送られ、講習生代表の横江一郎氏から謝辞が述べら

れました。

今後、講習生は、県内各地の果樹の担い手として活躍が期待されます。



修了証書を受け取る講習生

なお、同研究所の講習生制度は今年度で終了となり、来年度からは西白河郡矢吹町の福島県農業総合センター農業短期大学校の長期就農研修の一部として再編されることとなります。詳細等は当農林事務所農業振興普及部までお問合せください。

※問合せ：農業振興普及部（電話 024-535-0436）

（農業振興普及部）

◆福島市農業後継者連絡協議会「クラブ活動・意見発表会」が開催されました！

平成 28 年 2 月 25 日（木）、福島市の MAX ふくしま 4 階 A・O・Z（アオウゼ）において、福島市農業後継者連絡協議会主催の「クラブ活動・意見発表会」が開催されました。

同協議会は、福島市内の 6 つの青年農業者組織で構成されており、また、発表会は毎年開催されているものです。

始めに、クラブ活動発表の部では、各単位クラブから、公園での花モモの剪定及び害虫の防除、さつまいもの収穫による幼稚園児との交流等の地域に根ざした活動のほか、県内外での農産物の PR、先進地視察研修等の活動が報告されました。



同協議会の活動報告をする安齋会長

続いて、意見発表の部では、今年度新規就農された平野農業後継者協議会の佐藤恒亮氏から、就農しての感想や今後の目標等が発表されました。佐藤氏はサラリーマンを経験された後に果樹農家として

就農しており、体験に基づく農業の魅力について発表されました。発表は説得力があり、とても参考になりました。

クラブ活動・意見発表会の後、クラブ対抗ボウリング大会が開催され、和気あいあいとした雰囲気の中で大いに盛り上がりました。

(農業振興普及部)

◆平成 28 年度福島県県北地方防霜対策本部を設置！

平成 27 年 3 月 23 日（水）、当農林事務所において、平成 28 年度福島県県北地方防霜対策本部を設置しました。これは、福島県防霜対策本部の設置に伴うものです。

当農林事務所管内は、もも・なし・りんご等の果樹の一大産地で、花の開花から結実の時期は凍霜害の対策が必要な時期に



対策本部看板を設置する当農林事務所後藤所長(左)と渡邊農業振興普及部長(右)

当たります。また、育苗又は定植の時期を迎えた野菜や、収穫期にある露地野菜も凍霜害の対策が必要になります。

今後は、霜注意報等気象情報の収集や、管内市町村及び農業協同組合等と連携して、凍霜害防止の技術対策の支援等を行います。

(1) 対策本部設置期間

平成 28 年 3 月 23 日（水）～5 月 31 日（火）

(2) 対策本部設置場所

福島県県北農林事務所

住所：福島市南中央三丁目 36 番地

(土地改良会館内 3 階)

電話：024-535-0452

FAX：024-536-9590

(農業振興普及部)

ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動県北地方推進本部の構成員活動紹介

県北調理師会 調理師会の取組～消費者へ安全な食品を提供することを目指して～

県北調理師会では、行政と協力しながら様々な事業を行っております。今後も消費者の皆様へ安全で安心な食品を提供できるよう活動してまいります。

○調理師試験事前講習会の開催

調理師（製菓衛生師）試験を受験する方を対象に、調理師試験事前講習会を毎年開催しております。今年度は平成 27 年 6 月 29 日（月）から 7 月 1 日（水）の 3 日間、福島市の福島県青少年会館にて開催しました。講習会受講者の合格率は毎年 90%以上となっており、試験に合格した 54 名の方に新たに県北調理師会に御入会いただきました。

○調理技術講習会の開催

毎年各地区（福島・保原・二本松）において、調理技術及び食品衛生思想の普及向上を目指し、調理技術講習会を開催しております。今年度は以下の内容で行われました。

【福島地区】

開催日：平成 27 年 11 月 10 日（火）

場 所：福島市市民会館

テーマ：『秋の喰い切り料理』

講 師：味乃桃の井 桃井優吉先生



福島地区調理技術講習会の様子

【保原地区】

開催日：平成 27 年 11 月 4 日（水）

場 所：保原中央交流館

テーマ：『手軽にできる ぜいたく中国料理』

講 師：中国料理天辺 渡辺健志先生



保原地区調理技術講習会の様子

【二本松地区】

開催日：平成 28 年 2 月 10 日（水）

場 所：陽日の郷あづま館

テーマ：『井づくし』

講 師：陽日の郷あづま館 藤沢尚隆先生

○第 4 回県北産「親子で作るまごころ食育お弁当」コンクールの参加者募集！！

対 象：県北地区在住の小学 5、6 年生の親子

募集締切：平成 28 年 8 月 30 日（火）必着

問 合 せ：県北調理師会（TEL：024-531-1328）

福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-535-0382

FAX 024-536-9590

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

